

# 「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況について

まちづくり政策局

## 1 概要

「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づく国の総合戦略を踏まえ、地方創生の取組の推進を目的に令和3年3月に策定したものである。当該戦略は、令和3年度から5年度を計画期間として、6つの基本目標を掲げ、各事業の進捗について数値目標やKPI（重要業績評価指標）の客観的指標による評価・検証を実施している。

## 2 令和4年度末時点での進捗状況

### (1) 6つの基本目標と対応する数値目標の進捗状況

別紙1のとおり。

「交流人口の拡大促進」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により目標を大きく下回っていたが、徐々に回復してきている。他の目標値に十分達していないものについても、その達成に向けて必要な工夫を行っていくこととする。

### (2) 国の交付金を活用した事業の実績

令和4年度は、第2期総合戦略に関連する11事業において、地方創生に関する国の交付金（地方創生推進交付金）を活用した。各事業は成果・進捗目標として複数のKPIを設定しており、達成状況は別紙2のとおり。

令和4年度からの新規7事業についてはおおむね目標を達成した。2年目以降も、目標達成に向けて着実に事業を進めていく。

令和3年度からの継続4事業については、目標に満たないKPIも一部あったが、大幅に目標値を上回るものもあった。KPIが目標を大きく下回っている事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものであり、対策等を検討しながら計画最終年度である令和5年度の事業に取り組んでいく。

●「第2期仙台市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における  
6つの基本目標と対応する数値目標の令和4年度末時点の進捗状況

基本目標① 地域経済の中心である中小企業を活性化し、魅力ある「しごと」をつくります。

基本的方向		(1) 地域企業の成長促進		
		(2) ローカルビジネスの持続性向上・活性化		
		(3) Society5.0を実現するイノベーションの促進		
		(4) 新型コロナウイルス感染症へ対応した地域経済の再生と変革		
数値目標	指標	基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
	■ 集中支援対象企業	H29年度 7 社	R1～5年(累計) 50 社	R1～4年(累計) 53 社 (+19 社)
	■ 本市の事業により生まれた域内の企業間取引件数	H29年度 71 件	R1～5年(累計) 400 件	R1～4年(累計) 446 件 (+116 件)

基本目標② 仙台の魅力を生み出し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。

基本的方向		(1) 国内外からの旅行者の誘客促進・発信力の強化		
		(2) 地域特性を活かした多彩な観光資源の発掘・創出		
		(3) 東北全体の交流人口拡大に向けた広域連携の強化		
		(4) 新型コロナウイルス感染症へ対応した観光振興		
数値目標	指標	基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
	■ 仙台市内の宿泊者数	R1年度 624 万人	R5年 624 万人	R4年 477 万人 (+114 万人)

基本目標③ 仙台で学んだ若者が住み続け、東京圏からも人・起業を呼び込む、  
新たな「ひと」の流れをつくります。

基本的方向		(1) 都心再構築プロジェクトの推進		
		(2) 起業・創業への積極的な支援		
		(3) 若者等の地元定着と多様な人材の活躍の促進		
数値目標	指標	基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
	■ 本市誘致による進出企業数	H27～R1年度(年平均) 27 件	R3～5年(累計) 100 件	R3～4年(累計) 50 件 (+32 件)
	■ 大学生等の地元定着率	R1年度 42.2 %	R5年度 50.0 %	R4年度 40.6 % (△1.9 pt)

基本目標④ 希望する方が安心して結婚、出産、子育てできる社会の実現に取り組みます。

基本的方向	(1) 切れ目のない子育て支援			
	(2) 子育て応援社会の実現			
	(3) 子どもたちの安全・安心確保			
	(4) 子どもたちの未来が広がる教育環境づくり			
数値目標	指標	基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
	■ 保育需要に対応した保育施設などの利用定員数	R2年度当初 21,823 人	R5年度当初 23,324 人	R5年度当初 23,266 人 (+181 人)
	■ 安心して子育てができる社会づくりを評価する市民の割合〔※〕	R1年度 46.7 %	R5年度 50.0 %	R4年度 39.6 % (△2.7 pt)

※ 「仙台市市民意識調査」において、安心して子育てができる社会づくりに関する設問に対し、「評価する」「どちらかといえば評価する」と回答した人の割合  
R1年度調査による基準値とR5年度調査による進捗実績は、それぞれ以下の設問を用いて算出している。  
・R1年度調査：「保育施設等の整備や幼稚園の預かり保育の実施、延長保育・一時預かりの充実等、子育て家庭を応援する社会づくり」  
・R5年度調査：笑顔咲く子どもプロジェクトに関連する3つの施策に対する設問(平均値)  
「ICTを活用した教育や職場体験など、子どもたちの挑戦する力を育てる教育や、学校・家庭・地域みんなで育てる環境づくり」  
「少人数学級の推進や不登校児童の支援、特別支援教育の推進など、子どもたちの個性に応じた成長の機会づくり」  
「子ども・子育てに関する相談・支援、保育や子どもの遊びの環境の充実など、子育てを楽しめる環境づくり」

基本目標⑤ 豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、持続可能でしなやかな「まち」をつくります。

基本的方向	(1) 仙台防災枠組の推進			
	(2) 地域防災力の向上			
	(3) 脱炭素・資源循環型都市づくり			
	(4) 新型コロナウイルス感染症対策			
	(5) 自然を活かしたしなやかな都市基盤の形成			
数値目標	指標	基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
	■ 市内の温室効果ガス排出量	H25年度 911 万t <sub>-CO2</sub>	R12年度 593 万t <sub>-CO2</sub>	R3年度(速報値) 745 万t <sub>-CO2</sub> (+24 万t <sub>-CO2</sub> )
	■ 災害対応や防災対策について評価する市民の割合〔※〕	R1年度 61.6 %	R5年度 65.0 %	R4年度 70.4 % (+0.4 pt)

※ 「仙台市市民意識調査」において、災害対応や防災対策に向けた本市の取り組みに関する設問に対し、「評価する」「どちらかといえば評価する」と回答した人の割合  
R1年度調査による基準値とR5年度調査による進捗実績は、それぞれ以下の設問を用いて算出している。  
・R1年度調査：「地震や集中豪雨等の災害への対応体制や防災対策の強化」  
・R5年度調査：「東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災に関する情報発信や、地震や大雨、火災などの非常時の体制の整備」

基本目標⑥ 地域特性に合わせ、誰もが安心して暮らし、活躍できるまちづくりを進めます。

基本的方向	(1) 機能集約型の都市づくりと中山間地域や海辺等の地域づくり			
	(2) 地域の暮らしを支える基盤づくり			
	(3) 多様な主体が活躍できる社会づくり			
	(4) 都市経営基盤の強化			
数値目標	指標	基準値	目標値	進捗状況 (前年度比)
	■ 仙台市が住みやすいと思う市民の割合	R1年度 92.3 %	R5年度 94.0 %	R4年度 90.7 % (△0.2 pt)
	■ 仙台市に住み続けたいと考える市民の割合	R1年度 88.7 %	R5年度 90.0 %	R4年度 86.3 % (+0.1 pt)

1 東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	文化観光局東北連携推進室	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	仙台市 10,000千円		
事業概要	夏祭りを入り口とし、旅行目的地としての東北を浸透させ、来訪を促進する。東北の六祭りを中心に、各地の風土や自然、食等に広がりを持たせて文化・観光の魅力として発信し、スタンプラリー等も実施することで、東北域内在住者を含めた周遊を促す。						
令和4年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭り情報中心の既存のWEBサイトを改修し、季節ごとの地域情報や周遊パス等の観光情報を発信した。</li> <li>・10～11月にデジタルスタンプラリーを実施し、東北域内での周遊促進および消費拡大に取り組んだ。</li> <li>・10月29日(土)・30日(日)の「なかの東北応援まつり」ほか、計2回首都圏でのイベントに参加。東北絆まつりの演舞披露や東北六市のグルメ・観光ブース出店により、東北の魅力をもっとPRし、認知度向上と誘客促進に取り組んだ。</li> <li>・旅行会社と連携し、新たに夏祭り体験型旅行を商品造成・販売した。</li> </ul>						
K P I	指標			当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	東北の県庁所在地六市(青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市) 延べ宿泊者数		10,200,000 人泊	4,200,000	2,291,000	54.5 %
	②	夏祭り(青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり)入込数		1,342,000 人	8,790,000	4,112,000	46.8 %
	③	観光物産プロモーション実施回数		0 回	2	2	100.0 %
	④	スタンプラリー参加者数		0 人	1,000	2,279	227.9 %

実施主体: 仙台市・青森市・盛岡市・秋田市・山形市・福島市

2 仙台市スマートシティ推進事業

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	まちづくり政策局まちのデジタル推進課、プロジェクト推進課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	20,208千円		
事業概要	まちづくりにおいてより効果的にデジタル技術を活用するため、スマートシティの枠組み導入を進める。また、スーパーシティ構想をはじめとし、地域の強みや課題に応じた各エリアの取組みを有機的につなげることでスマートシティを実現し、その取組を市内や東北地方に横展開することを目指す。						
令和4年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市データプラットフォーム準備協議会を設立し、参画団体間の情報共有やデータ流通に必要なルール等に関する検討を行った。</li> <li>・仙台市×東北大学スーパーシティ構想推進協議会において、東北大学や参画企業と連携しながら、取組み内容を精査するとともに、最先端技術を活用したサービスの検討を行った。</li> </ul>						
K P I	指標			当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	データを活用したサービスの実証実験および実装件数		0 件	3	3	100.0 %
	②	本事業により創出したサービス登録者数		0 人	200	335	167.5 %
	③	市民ポータル(仮)の利用者数		0 人	0	0	- %

3 販路開拓エコシステムの推進による地元中小企業成長促進事業

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	経済局中小企業支援課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	17,850千円		
事業概要	新型コロナウイルスの影響による市場環境の変化や販売機会の減少に苦しむ地元中小企業に対して、域内外の関係機関が各々の強みを活かし連携して、販路開拓を支援することで、地元企業の成長を促す。						
令和4年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力事業者を中心に、BtoB、BtoCそれぞれの観点から、中小事業者同士が各々の強みを活かし連携して取引先を拡大すること目的とした取り組みを実施した。</li> <li>・首都圏展示会出展による販路開拓事業として、東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022へ6社、スーパーマーケットトレードショー2023へ8社の出展支援を行った。</li> </ul>						
K P I	指標			当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	本事業を通じた商品・サービスの売上額		18,000 千円	20,000	37,930	189.7 %
	②	本事業を通じて増加した商談件数		0 件	100	450	450.0 %
	③	本事業を通じて増加した域外実店舗の売場獲得箇所数		0 箇所	20	23	115.0 %
	④	本事業で支援した延べ事業者数		0 事業者	100	225	225.0 %

#### 4 世界の災害リスク・気候変動リスク低減に貢献するBOSAI-TECHビジネス実証実装支援事業

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	経済局産業振興課 危機管理局危機対策課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	74,900千円	
事業概要	「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を進化・発展させ、「防災・減災・気候変動×テクノロジー」分野のビジネスアイデア創出、実証実験、社会実装、市場展開までを一体的に実施することで、参画企業の継続的な成長支援と産業面から世界の災害リスク低減に貢献する。					
令和4年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームを通じて、国内外の企業が参加する事業開発プログラム・ビジネスマッチング、実証実験支援を実施した。</li> <li>仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームへの参画の呼びかけを行った。</li> </ul>					
K P I	指標		当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	本事業を通じてBOSAI-TECHに関連する新たな製品・サービスの開発件数(プロトタイプを含む)	39 件	30	31	103.3 %
	②	本事業を通じてBOSAI-TECHに関連する新たな事業開発及び事業規模拡大に着手する企業数	45 件	20	62	310.0 %
	③	本事業を通じて新たなBOSAI-TECHに関連する実証実験の件数	14 件	12	13	108.3 %

#### 5 「Capital of Social Innovation : SENDAI」の実現に向けたソーシャル・スタートアップ・エコシステム構築事業

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	経済局スタートアップ支援課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	56,304千円	
事業概要	国内外の社会課題解決に資するビジネスを創出するスタートアップ・エコシステムの形成促進のため、首都圏等の多様な人材向けの情報発信やマッチング機会の創出、支援人材の誘致等を通し、ソーシャル・スタートアップが仙台・東北地方から持続的に産み出され、成長できる環境を構築する。					
令和4年度の 主な取組	首都圏等域外から多様な人材を呼び込むための情報発信や首都圏等の人材とソーシャル・スタートアップとのマッチング機会の創出支援を実施した。					
K P I	指標		当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	本事業を通じて生み出されたソーシャル・スタートアップコミュニティ参加者数	0 人	500	1,076	215.2 %
	②	本事業を通じて生み出されたプロボノマッチング数	0 件	5	6	120.0 %
	③	本事業を通じて生み出されたスタートアップ支援拠点利用者数	0 人	50	134	268.0 %

#### 6 関係人口の創出・拡大に向けた「農」や「食」を軸とした情報発信コンテンツ創出事業

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	経済局農政企画課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	16,922千円	
事業概要	前身事業で得られた農業施策上の成果を新たに観光施策と連携させ、「農」や「食」を軸とした情報発信と、その素材となる新たな商品やサービスの創出の支援をあわせて行い、誘客促進や域内経済循環の拡大、ひいては関係人口の創出・拡大を図る。					
令和4年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化や農商工連携等の取り組みへの支援や、ホームページ・SNSでの情報発信、生産から流通・販売までを見据えたビジネスモデルの構築として仙台産「今朝採り枝豆」の飲食店・量販店提供を行った。</li> <li>10月の1か月間を「とれたて仙台」地産地消月間として、東北の情報発信拠点施設において特別メニュー提供などのイベントを開催したほか、多様な関係団体と連携し、全市的な事業展開を図った。</li> </ul>					
K P I	指標		当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	インスタグラムでのハッシュタグ「#とれたて仙台」投稿数	180 件/年	32	723	2259.4 %
	②	6次産業化施設における従業員雇用者数	0 人/年	25	51	204.0 %
	③	新商品開発件数	2 件/年	3	1	33.3 %
	④	6次産業化訪問相談件数	6 件/年	8	13	162.5 %

## 7 サステナブルツーリズム推進事業

計画期間	令和4～6年度 (1年目)	担当課	文化観光局観光課、東北連携推進室	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	45,359千円		
事業概要	ウィズコロナ・アフターコロナの都市間競争を見据え、地域一体となって交流人口拡大に向けた戦略やエリア別ブランディングを推進する体制を構築するとともに、仙台・東北の地域資源を活かした魅力的なコンテンツの造成とプロモーションの強化に取組み、持続可能な観光地域づくりを実現させる。						
令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北各地のDMOとの連携構築や、今後のローカル観光のモデルケースとなる21本のツアー・プログラムの造成・販売、プロモーションや効果検証を行った。</li> <li>・仙台・東北の観光の現状やDMPの活用などに関するシンポジウムや、仙台のエリア毎の地域ブランディングのセミナーを開催した。また、デジタルマーケティングについて、基礎的データの収集のほか、観光客動態調査や観光客のニーズ調査などを行った。</li> <li>・「旅コレフェスティバル」により集中的なプロモーションを実施したほか、「伊達ロマネスク」の企画や、東北のローカルツーリズムの推進に向けたコンテンツの収集やプログラムの造成・検証を実施した。</li> </ul>						
K P I	指標			当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	経済波及効果		99,132 百万円	26,995	25,774	95.5 %
	②	秋保地域における人口の社会増減数		0 人	0	△ 25	— %
	③	消費拡大額		0 千円	12,237	14,922	121.9 %
	④	宿泊者数		3,773,745 人泊	943,436	993,117	105.3 %

## 8 先端テクノロジーを活用したSDGsビジネス実証支援事業

計画期間	令和3～5年度 (2年目)	担当課	経済局スタートアップ支援課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	6,855千円		
事業概要	東北のSDGs関連の社会・行政課題に対し、大学の研究成果を活用した解決策を募集し、企業や地域住民、行政関係者による施策開発品実証と改善に向けたプログラム提供を行い、製品実用化を加速させるとともに、起業人材とスタートアップの呼び込みを図る。						
令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の研究成果を活用して起業を目指す大学等の研究者や学生に対して、短期集中支援プログラムを実施し、ビジネスプランのブラッシュアップや顧客候補となる企業等へのインタビュー、実証実験等のサポートを行った。</li> <li>・過年度プログラム採択者に対して、事業化に向けたハンズオン支援やイベント等への出展機会を提供し、起業に向けた支援を行った。</li> </ul>						
K P I	指標			令和4年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	大学の研究成果やICTを活用し、SDGsの17のゴール・169のターゲットに対応した課題解決ビジネス創出数		8 件	10	6	60.0 %
	②	本事業によって生み出されたサービス利用者数及び実証実験への地域住民の参加数		30 人	100	115	115.0 %
	③	本事業を通じたSDGsに取り組む民間企業、自治体、大学等教育機関等との連携数		3 件	5	10	200.0 %

## 9 「AI-Ready都市・仙台」の実現に向けたAI関連ビジネスエコシステム構築事業

計画期間	令和3～5年度 (2年目)	担当課	経済局産業振興課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	64,600千円		
事業概要	Society5.0の時代を見据え、先端IT技術を活用した新事業創出、地域ビッグデータを活用した医療・介護産業とのX-TECHによる事業共創、高度IT人材の育成支援等の一体的な実施により、地域IT企業による新ビジネス創出と継続的な成長を目指す。						
令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業におけるAIを利活用した新ビジネス創出/既存ビジネス高度化に向けて、経営層向けハンズオンセミナー、ワークショップ、メンタリングプログラム、ビジネスコンテスト等を実施した。</li> <li>・AIを活用できるジェネラリスト人材及びプロダクト開発できるエンジニア人材の育成に向けて、資格取得に向けた学習プログラム等を実施した。</li> <li>・ウェルビーイング領域におけるユースケース創出に向けたコンソーシアム構築、ビジネス開発プログラム等を実施した。</li> </ul>						
K P I	指標			令和4年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	本事業を通じたAIに関連する新たな製品・サービスの開発件数(プロトタイプを含む)		35 件	27	39	144.4 %
	②	本事業を通じてAIに関連する新たな事業開発及び事業規模拡大に着手する企業数		18 社	17	18	105.9 %
	③	本事業を通じて育成されたAI人材人数		107 人	120	115	95.8 %

## 10 デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光等推進事業

計画期間	令和3～5年度 (2年目)	担当課	文化観光局東北連携推進室	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	19,345千円	
事業概要	地域の多様な魅力を体験できるオンラインツアー及びそれと連携したリアルツアーを実施し、地場製品の消費拡大、東北のファン創出による交流人口拡大に繋げるとともに、東北の観光案内所のネットワーク化を進め、周遊促進に向けた受入体制の充実を図る。					
令和4年度の 主な取組	<p>・オンラインツアー及びそれに連携したバスツアーの実施について、前年度に引き続き、市場調査、関係者を対象とした研修会を実施した上でツアー造成や、それに向けた体制を構築するとともに、ウェブサイト及びSNSで「オラツー東北！」として情報等を発信、認知拡大及びツアーへの参加促進を行った。オンラインツアーは32本造成し、1,601名が参加した。併せて実際に現地に行けるバスツアーを、22本造成し、307名が参加した。</p> <p>・観光案内所のネットワーク化については、東北等の34地域42ヶ所の観光案内所のネットワークの維持による観光案内所同士の情報共有に継続して取り組むとともに、観光案内所スタッフのスキルアップ及び他地域の観光情報の取得を目的とした研修会を開催し、広域観光情報の提供に継続して取り組んだ。また、本事業で各観光案内所に配備したデジタルサイネージを活用した東北全体でのプロモーションを継続した。</p>					
K P I	指標		令和4年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	オンラインツアー参加者数	1,264 人	1,200	1,601	133.4 %
	②	東北の観光案内所のネットワーク化事業参画案内所利用者数	1,909,000 人	240,000	1,017,316	423.9 %
	③	オンラインツアー数	21 件	30	32	106.7 %

## 11 仙台都市圏インバウンド戦略再構築事業

計画期間	令和3～5年度 (2年目)	担当課	文化観光局誘客戦略推進課	事業規模 (令和4年度交付対象事業費)	41,000千円	
事業概要	デジタルマーケティングにより、コロナ禍で変化する旅行者のニーズや動向を捉えたインバウンド施策を展開し、併せて、従来の「地域(都市)への誘客」から「テーマ・ストーリー別の誘客」への転換を進め、仙台都市圏への誘客と経済活性化を目指す。					
令和4年度の 主な取組	<p>戦略的プロモーションの実施として本市がインバウンド誘客の重点市場と位置づける台湾・タイを中心に、旅行博への出展や旅行会社・メディア等の招請事業、現地旅行会社向けセミナー・商談会を実施したほか、各航空会社を訪問し仙台空港国際定期便の早期再開に向けた働きかけを行った。また、デジタルマーケティングの手法を活用し、ウェブ・SNSでの情報発信等を行うことで、訪問意欲を喚起した。</p> <p>受入環境の充実を図るためR3年度に引き続きベジタリアン・ヴィーガン・ムスリムの受入環境整備を実施した。また、市内の宿泊・交通事業者や観光関連施設等を対象に外国人観光客対応力向上セミナーを実施ほか、新規事業としてインバウンド対応力向上に向けた支援を実施した。</p> <p>観光コンテンツの発掘・磨き上げのため、世界に誇る仙台の食を活用した魅力発信のほか、インバウンドの滞在時間延長に向けたロングステイコンテンツの発掘を行った。また、地域のランドオペレーターと連携し、体験コンテンツの着地型旅行商品の販売体制構築に取り組んだ。</p>					
K P I	指標		令和4年度当初値	目標値(増分)	実績値(増分)	達成度
	①	訪日外国人観光消費額(宮城県)	(※1) 億円	78.9	(※2)	— %
	②	市内外国人宿泊者数	18,306 人	60,000	15,997	26.7 %
	③	訪日外国人向け観光情報サイト「DISCOVER SENDAI」年間閲覧数	78,888 PV	100,000	146,320	146.3 %

(※1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光庁における訪日外国人消費動向調査が実施中止等となったため、都道府県ごとの数値が公表されないこととなったことから、実績不明。

(※2) 訪日外国人観光消費額(宮城県)は宮城県によって毎年公表されており、その公表時期が10月以降となっている。